

普代の沢砂防事業について

1. 事業の概要

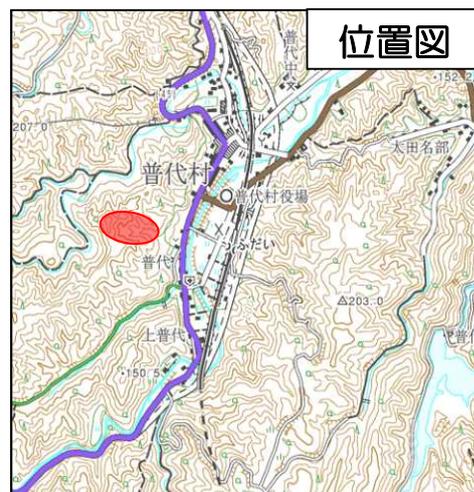
普代の沢は、2級河川普代川水系の土石流危険渓流であり、平成22年に土砂災害警戒区域に指定され、令和元年10月の東日本台風に伴う豪雨により大きな土石流被害が発生している。

保全対象に地域防災計画に位置付けられた緊急輸送路(国道45号)や人家等があり、土石流被害を防止するため、令和2年度から砂防堰堤工事に着手し、令和5年7月に完成したものの。

全体事業期間：平成26年～令和5年

全体事業費：約3億円

事業内容：砂防堰堤1基、渓流保全工、管理用道路



2. 写真

施工前 (R3.8)

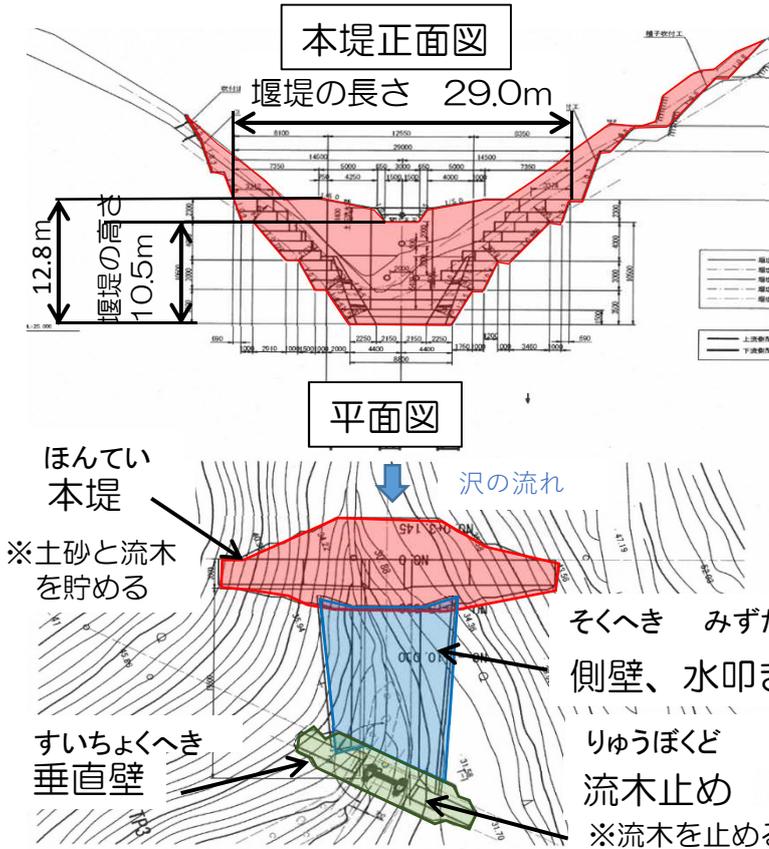


施工後 (R5.6)



普代の沢砂防事業について

3. 図面



4. 砂防堰堤について

- 堰堤長 29m
- 堰堤高 10.5m
- 施設効果量(土砂) 1,752m³
- 不透過型堰堤 (管理型)
- 重力式コンクリート構造

(参考) 令和元年東日本台風(台風第19号)における被害状況について

令和元年10月に発生した大型の台風第19号の接近・通過に伴い、全国の広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となった。東北地方については、多くの地点で降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となり、普代村では24時間降水量437mmを記録し、これまでの最大343.5mmを上回る大雨となった。

台風の影響により、全国で952箇所、岩手県で98箇所の土砂災害が発生し、普代の沢においても土石流が発生した。

R元.10.14撮影

